

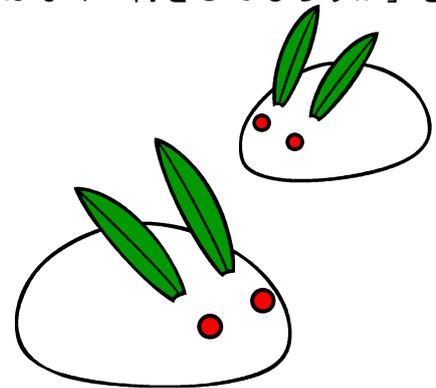
「何ができるか」を考える

間もなく立春を迎えます。第3学期も残り2ヶ月となりました。3年生は、私立高校入試が終わり明日には県立高校I期入試選抜が行われるなど、進路選択の試練に立ち向かっています。また、2年生では修学旅行の準備が始まるなど、1・2年生は4月からの中学校生活に向けた学習に取り組んでいます。このように、現在生徒の皆さんは、自分自身の将来に向けた準備を進めているところです。

そのような準備の中で、大切にしたいことがあります。それは、将来に向けて今の自分は「何ができるか」を考え、実行することです。目の前であろうが数年先であろうが、自分自身の力で未来を切り拓かなければなりません。そのためには、今何ができるかを自分で考えることが重要だからです。

もし、自分の将来の準備において、「何ができるか」ではなく「何をしてもらおうか」を考えていたら、自分の将来を他人にお膳立てしてもらってしまうことになってしまいます。その場合、何かうまくいかないことがあるとその責任を他人に求め、自分はすぐにあきらめてしまうようになります。困難に遭遇したときに、それを乗り越えるために様々な支援を受けることが必要となることはあります。しかし、そのときも自分に「何ができるか」を考えることを忘れてはならないのです。

4月からの学校生活の充実、そして将来の夢を実現させるために、「何ができるか」を考えて生活して欲しいと思います。



「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」で 松井菜々美さん（3年）の作品が 文部科学大臣賞に輝く!!

11月に県警察本部長賞を受賞した松井菜々美さん（3年）の作品「今を大切に」が、「命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクール」で最高賞に次ぐ文部科学大臣賞を受賞しました。

この作品は、6月に本校で行った「命の大切さを学ぶ授業」を受講して、当たり前のことを大切に感謝すること、自分の命には周りの人たちの思いが込められていることなどについて考え、命そして今を大切に生きていくという松井さんの思いを表現したものです。

表彰式は、2月2日（土）に東京都で行われます。

インフルエンザの予防に努めてください

二本松三中では、先週からインフルエンザに罹患した生徒が増えてきています。市内の小・中学校の中には、学級閉鎖を措置を取った学校もあります。うがい・手洗いの励行や栄養バランスのよい食事と睡眠を十分に取り、予防に努めてください。

万一、発熱したり体調がすぐれない場合は、無理に登校させずに休養させてください。そして、早めに医師の診察を受けるようによろしくお願いいたします。